



南無阿弥陀仏  
人と生まれたことの意味をたずねていこう

発行日:2023(令和5)年2月27日 第32号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞  
高山市鉄砲町6 TEL 0577-32-0776 web http://hidagobo.jp takayama@higashihonganji.or.jp

## 「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」をお迎えする

### —立教開宗とは、今日の課題とする宗務改革を外してはありえない—

#### ■「立教開宗」という原点回帰運動

「念仏のサンガ」としてあるべき「宗門」において、親鸞聖人の「立教開宗」と「御誕生」を慶讃することは、現在この世に存在する「真宗大谷派教団」が、一人いちにんの「宗を開く門」となることです。

私たちにとっては、およそ550年前の蓮如上人の教化も、150年前の清沢満之師の教団改革も、戦後の真人社に始まる60年前の同朋会運動も、それぞれの時代において「真宗」を開頭しようとする、「立教開宗」という原点回帰運動です。

大谷派宗門は、その歴史の中で「教財一如の懇志教団」と表明し続けてきています。それは、挙げて「大谷派なる宗教的精神」における「世界人類の安心を期する」ところの宗門であろうとする故でありました。即ち、単なる、僧侶・門信徒の「利益共同体」・「互助会」・「協同組合」ではありませんで

た。私たちの宗門とは、「真実報土」から開かれこの世に表現された「化身土」であり、そのことを確かめるのが、この度の「慶讃法要」です。

そして、組織制度及び財政という宗門存立の手立てを再構築しようとするのが、昨年の宗会（議会）において、全国からさまざまな宗門人を求め設置された「行財政改革検討委員会」でした。

この一点が明確にならなければ、「大法要」といっても、その時期が来たから行う「ひとつのイベント」に終わり、また「改革検討委員会」というも、時代を後追いつけるだけの自己保身にしかすぎなくなります。

#### ■「慶讃」ということ

宗門には、「念仏」に一人一人の「安心を期するところの源泉」を見出した先人の歩んだ道を「訪い」、また大きく変動するこの世界の課題に答え、現代人の「救い」を顕現

する使命と責任が荷負されています。

しかしそれは、いつか、どこか、誰かのことではないのでしょうか。身近には、今この宗門に属する一人一人がその与えられた日常の現場と生活の中で、「念仏の道」を見出していくことを描いて「慶讃」を証する場所はありません。

「慶讃」とは、聖人の御誕生（850年）と、真宗の開頭（『教行信証』坂東本「化身土巻」記載の「元仁元年（1223年）」＝800年）をお迎えすることであるとともに、その底流に、私たち一人一人が本願念仏によって「受け難き人身」を受持することのできた事実への「慶喜奉讃」であり、罪業深重の自身の懺悔の他にはないのであります。

宗議会議員  
高山2組往還寺住職  
内記 淨



### 慶讃法要への団体参拝には（「同朋唱和」対象団体）

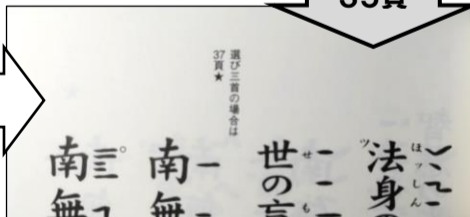
## 『同朋唱和勤行集-現代語訳付』をご持参いただくようお願いください

慶讃法要で、「正信偈同朋唱和」の座にお参りされる場合、高山での御遠忌法要で発行された『同朋唱和勤行集-現代語訳付』をご持参いただくことをお勧めいたします。

基本次第の、同朋唱和の念仏和讃は「選り三首」で勤まりますが、『同朋唱和勤行集-現代語訳付』ではその対応がなされています。該当する座の団体は、是非ともご案内ください。



35頁



### 「慶讃法要・ご坊チャンネル」のバス中視聴について

慶讃法要団体参拝にあたって、法要及び教化に関する映像を収めたDVDを配布いたしますので、団参バスの中で参加者の方々に視聴いただきますようお願いいたします。



- <内容> ※詳細は、2月中に各組長宛に通知いたします。
- ★【慶讃法要】大谷暢裕門首・木越渉総長メッセージ
- ★【慶讃法要】両堂で勤まる法要について ※対象法要の場合上映ください
- ★ご坊チャンネル！（子ども向け番組） ※CMを含め4本

### ★センター・別院からのお知らせ★

※各行事は、コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

#### 第3回企画会議報告 センター第2期に向けて

2月3日、今年度第3回目の企画会議が開催されました。第2回目に引き続き、第2期のセンター体制をどのようなものにしていくのか、引き続き検討がなされました。

まず、センター長から、改めてセンター理念についての説明を受け、センター事業の状況をマトリックス化した別資料についての確認作業を行いました。そのうえで、帰敬式推進室設置についての議論を行い、部会化も含めて設置を検討していくことが確認されました。2月17日開催のセンター長・正副座長会においても、設置すべきことが確認されました。

#### 高山別院御堂番の時間変更について

日頃、ご寺院様を通して、ご門徒の皆様に御堂番のご奉仕を頂いております。御堂番の時間について、今年4月7日より、午前9時から正午まで（時間短縮）に変更させていただきますので、宜しくお願ひ致します。

#### 2022年度 聖教学習会 第3回(最終回)

期 日:3月7日(火)午後1時半～ 講師:マイケル コンウェイ師  
テーマ:『安楽集』に学ぶ—時機の自覚— ※先々月同封のチラシをご参照ください。

#### 慶讃法要 岐阜高山教区(高山地区)団体参拝

募集

期 日:4月1日(土) 定員:先着30名  
対 象:高山地区内門徒・高山別院門徒 参加費:10,000円  
※各組団体参拝にご参加いただけなかった方にお声がけください。

#### 慶讃法要 子どものつどい in 東本願寺 定員になり次第締め切ります

募集

—であう つながる ともにある—  
日 時:5月5日(金・祝)午前10時～午後4時(本山内での行事時間)  
対 象:小学校3年生～中学校3年生 会場:東本願寺 参加費:5,000円  
※申込締切:3月31日(金) ※延長になりました。



申し込み

■信心が開く世界一同朋

同じ大きさで同じ高さで出会うということ、同朋という言葉で確かめてきたのが真宗ですが、そのことについて、親鸞聖人と同行の一人の明法房との関係を通して見てみたいと思います。〈前編「同朋会運動—同朋としての出会いの場を願って」をご確認ください〉

〈信心が開く世界一同朋〉

親鸞聖人が関東の常陸の国、現在の茨城県に住んでおられたころのことです。親鸞聖人の教えをたくさんの方が聞いて心惹かれていく様子を見て、自分たちの立場が危うくなると考えた山伏が、親鸞聖人の命を折々狙った事件がありました。その山伏は、明法房という名で伝わっています。

親鸞聖人のお手紙に、その明法房が亡くなられたことに関するものがあります。その中に「同朋」という言葉がでてきます。「同朋」というのはともだち・なかまという意味です。親鸞聖人は、明法房について「かつてあった自身の悪しき心を思い返して、同じく教えをいただく友人やなかまに、心をこめて懇切に接して下さった」と書いておられます。

自分を殺そうとした人が、一緒に教えを聞く友となってくれたことは、聖人にとって生涯の中での大きな喜びであったに違いありません。

それは、親鸞聖人の人徳がすばらしいからということではないのです。自分の意にそぐわない者に恨みを懐き、それがだんだん積もれば、相手を亡き者にしてでも自分の都合を押し通そうとする心根は明法房だけでなく私にも在る。だからこそ、自分では気がつかないこともあるし、無かったことにしがちな私の中にある罪業性を余すことなく知らせ、共に目覚めよと呼びかける本願の教えと一緒に聞いて確かめていく人に明法房がなってくれた。そのことが聖人の喜びなのです。

いかなる人も見捨てず、一人ひとりを受けとめその人の全てを明らかにする教えによって、敵対した人とも友として出会うことができた。それは、教えによって男性も女性も老人も若者もみな同じように平等にもらさず友として通じ合える世界が開くことを証明してくれたのです。

その通じ合って開く世界を、親鸞聖人は「同朋」と表現されました。



りっぱな人格になることを答えにして目指すのではなく、自らの罪業性を問いかける本願に学ぶ友として、問いを共にするのです。それは罪業を生きる全ての人に通じていける世界を開くのです。その世界が「同朋」と表されます。

親鸞聖人は、明法房のことについて、深い感慨、感動をもって書いておられます。同朋として彼と友達になれたと、そのことが、私がいただいている本願の教えの何よりの証なんだということです。親鸞聖人が83歳の時に描かれた「安城の御影」がありますが、あの杖は桑の木で、そこに鹿の革が巻いてあるんだとか、そういう説明書きが『存覚上人袖日記』に残っていますが、そこに襟巻が明法房の形見だと記されています。親鸞聖人の絵像というのは、襟巻があるのが特徴です。ただ、若い時の親鸞聖人が襟巻をしていたらおかしいんですけども。普通は白いんですけど、安城の御影の襟巻はエンジ色です。『御伝鈔』にありますように、明法房は山伏ということで、柿の渋で染めた衣を着ていました。柿の渋で染めるとエンジ色みたいになります。その明法房の着ていた衣から作った襟巻をして、自分の生きている絵姿として安城の御影を描かせるわけです。そういう形で、いつも身近に明法房を感じながら、自分を殺そうとした人と友になっけていける教えに出会えたんだと、そのことをお手紙で語られ、そこに同朋という言葉があります。そういう出会いが、仏法僧という形で開くんだということが、在家仏教の課題だと思います。

高山1組 不遠寺住職  
企画会議副座長 四衢 亮



『高山市民時報』ミニ法話『響』3月

- 細川 宗徳氏 (高山1組蓮乗寺住職)
- 渡邊 侑希氏 (清見組了因寺住職)
- 三島 清圓氏 (吉城組西念寺前住職)
- 澤邊 恵亮氏 (高山2組誓願寺住職)

web ひだご坊でも「一口法話」配信中!

\*印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。

第41回 真宗公開講座 共通テーマ:「立教開宗」とは

期日:3月6日(月)午後2時~ 今年度第5回目となります。

講師:安藤 弥師(同朋大学教授) 会費:500円

講題:親鸞聖人の「同朋」—「立教開宗」を考える

第6回 日時:4月6日(木) 講師:馬川 透師(高岡教区真教寺)

テーマ:正信偈をいただく 私の立教開宗 高山1組 真宗の会・門徒会

\* 寺族の方々も、500円玉一枚持って、是非ともご参加ください。



飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2023年3月行事予定 ※コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

| 日  | 曜 | 時間             | ご坊センター・高山別院・教区・組               | 会場          |
|----|---|----------------|--------------------------------|-------------|
| 1  | 水 |                |                                |             |
| 2  | 木 | 13:30          | 帰敬式法座企画会・スタッフ会                 | 御坊会館        |
| 3  | 金 | 13:00          | 別 嘉念坊善俊上人ご命日法要・総会<br>セ 企画会議    | 本堂          |
| 4  | 土 |                |                                |             |
| 5  | 日 |                |                                |             |
| 6  | 月 | 13:30<br>14:00 | セ 青少年部会<br>セ 真宗公開講座 (講師:安藤 弥師) | 研修室<br>御坊会館 |
| 7  | 火 | 13:30          | セ 聖教学習会③ (講師:マイケル・コンウェイ師)      | 研修室         |
| 8  | 水 |                |                                |             |
| 9  | 木 | 13:30          | 教 坊守会高山支部研修会① (講師:羽部玲子師)       | 研修室         |
| 10 | 金 |                |                                |             |
| 11 | 土 | 13:00          | 別 大谷婦人会定例 法話:三島多聞氏(輪番)         | 御坊会館        |
| 12 | 日 | 13:00          | 別 納骨経                          | 本堂          |
| 13 | 月 | 7:00<br>14:00  | 別 前住上人ご命日<br>組 高山2組組会          | 本堂<br>研修室   |
| 14 | 火 | 9:00           | 別 おみがき                         | 本堂          |
| 15 | 水 | 7:00           | 別 一日華                          |             |
| 16 | 木 |                |                                |             |
| 17 | 金 |                |                                |             |

| 日  | 曜 | 時間             | ご坊センター・高山別院・教区・組                       | 会場        |
|----|---|----------------|--|-----------|
| 18 | 土 | 13:00          | 別 彼岸会 法話:岩佐幾代氏(浄永寺坊守)                  | 本堂        |
| 19 | 日 | 13:00          | 別 彼岸会 法話:四衢 亮氏(不遠寺住職)                  | 本堂        |
| 20 | 月 | 13:00          | 別 彼岸会 法話:内記 浄氏(往還寺住職)                  | 本堂        |
| 21 | 火 | 13:00          | 別 彼岸会 法話:三島多聞氏(輪番)                     | 本堂        |
| 22 | 水 | 13:00          | 別 彼岸会 法話:旭野康裕氏(永養寺住職)                  | 本堂        |
| 23 | 木 | 13:00          | 別 彼岸会 法話:白尾公信氏(了心寺住職)                  | 本堂        |
| 24 | 金 | 13:00<br>13:30 | 別 彼岸会 法話:三枝正尚氏(隨縁寺住職)<br>組 高山2組坊守会学習会② | 本堂<br>研修室 |
| 25 | 土 |                |  |           |
| 26 | 日 |                |  |           |
| 27 | 月 | 13:00<br>19:00 | 別 親鸞聖人お逮夜<br>教 教化研究所                   | 本堂<br>研修室 |
| 28 | 火 | 13:00          | 別 親鸞聖人御命日 法話:井野了慧氏(高山教務支所書記)           | 本堂        |
| 29 | 水 |                |  |           |
| 30 | 木 | 14:00          | 教 解放推進協議会公開学習会 (講師:訓覇 浩師)              | 研修室       |
| 31 | 金 | 15:30          | 組 高山1組組会                               | 研修室       |

2023年4月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。

| 日 | 曜 | 時間   | ご坊センター・高山別院                     | 日  | 曜 | 時間    | ご坊センター・高山別院    |
|---|---|------|---------------------------------|----|---|-------|----------------|
| 1 | 土 |      | 教団参 教区慶讃法要団体参拝<br>組団参 清見組・朝日高根組 | 8  | 土 | 19:00 | 組 高山1組親鸞教室①    |
| 2 | 日 |      | 組団参 高山2組                        | 9  | 日 | 13:30 | セ 真宗公開講座(馬川透師) |
| 4 | 火 | 9:45 | 教 得度事前研修会(高山地区)                 | 13 | 木 | 13:30 | 組 高山2組組会       |
|   |   |      |                                 | 15 | 土 |       | 組団参 益田組・荘白川組   |